



新年のご挨拶

院長 吉田 良二

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

当院は栃木県救命救急センターを担う病院で、従来から地域において急性期病院としての役割を果たすべく、日々高い技術の習得、質の向上に努めてまいりました。その結果、平成26年には厚生労働省から大学病院に準じた機能を有する病院で、「高度急性期病院」に位置づけられるDPC病院II群に指定されました。現在、当院ではこの位置付けに相応しい安全で信頼性の高い医療を提供し、患者さま、およびご家族に満足していただくことにより、地域の皆さまから頼りにされる病院を目指して鋭意努力し続けております。

さて、日本における少子高齢化が急速に進む中、国では誰もが適切な医療・介護サービスが受けられる社会を実現するため、急性期病床の位置付けを明確化し、医療資源の集中投入による機能強化を図るなど、病院・病床の機能分化・強化を推進する政策を進めています。それを受け当院は、外来では専門的な治療を要する方、入院では重症救急疾患や集中的に治療を要する方にご利用いただくことが、地域の中での役割であること

は、緊密な連携をとり、ご本人やご家族にご迷惑をおかけしないよう十分に配慮させていただきますので、ご理解下さいますようお願いいたします。

認識し、少しでも多くの重症患者さまを受け入れるために、急性期での治療が終わりましたら、回復期や長期療養期の病院に転院、あるいは、ご自宅にお帰りいただいかかりつけ医の先生方にフォローアップをお願いするなど、地域との医療連携を推進しています。その際に

また、当院では社会貢献の一環として、地域の子育て家庭が安心して働ける環境作りを支援する目的で、昨年4月より地域型及び病児保育事業をスタートさせ、さらに7月からは、性犯罪や性暴力の被害に遭った女性を支援する目的で、性被害者サポートセンターを立ち上げました。地域の方々のお力になれればと考えております。

最後になりましたが、本年が皆さまにとって希望に満ち溢れた年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



ちょこっとメモ 1月25日

日本最低気温の日

1902(明治35)年、北海道旭川市で日本の最低気温の公式記録-41.0℃を記録しました。以降、これより低い気温を観測するも、気象庁の公式記録の対象から外れていたため、旭川市のこの記録が公式の日本最低気温となっています。余談ですが、これは1981(昭和56)年2月27日の富士山頂の記録-38.0℃よりも低い気温です。

近年の気温は上昇傾向にあるため、この記録が更新される可能性は低いかもしれませんが、まだまだ寒い日が続きますので皆さまどうぞご自愛ください。

編集後記

みやのわ 編集スタッフのわ

新年あけましておめでとうございます。今回は50号という節目にあたり、改めて当誌「みやのわ」についてご紹介させていただきます。

2003年の創刊から今年で13年目を迎えますが、これも偏に読者の皆様の応援があつてこそ一同感謝しております。これからも「みやのわ」をよろしく願います。

さて、2003年の出来事を調べてみると、「地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋で開始」「鳥インフルエンザ感染発生」「六本木ヒルズグランドオープン」とありました。どれもついこの前の出来事のように感じ、この頃私自身はどうだったのか思い出し、出してみたら、なんと中学生！ 時が過ぎるのはとても早い、痛切に感じた瞬間でした……。

最後になりますが、今年1年が皆様にとって良い年となりますように。